

真田坂

- 1面/巻頭言「JT跡地開発と市民レベルの議論」
- 2面/特集
第1回「JT上田工場跡地再開発を考える」
- 3面/暮らし百科
「水虫の予防と対策」
- 4面/銘店探訪「上田病院」
- 5面/今月の特選品
マルブン堂 推薦
「多機能ボールペン・シャープペン」
松屋プラザ店 推薦
「4~5月の特別サービス 毛布クリーニング1枚600円」
街歩きエッセイ⑥「真田坂周辺の花見処」
- 6面/商店主図鑑 ソニア イン ベスト 宇田恵美さん
コラム「街おこしを考える」
「昔・立地で、今・業容」
- 7面/真田坂的料理
「山菜の天ぷらと炊き込みご飯」
売れ残りミュージアム⑤
「裕次郎メモリアルBOX
美空ひばりメモリアル不死鳥伝説」
真田坂の新人さん
みすゞ館本舗(株)飯島商店 立川直美さん

特集●
JT上田工場跡地
再開発を考える
第1回



表紙*市内在住●沢 佐登美さん
(コットンサトー・オーナー佐藤隆平氏からのご紹介)

第7号●巻頭言
JT跡地開発と市民レベルの議論

新年度が始まり半月がたった。信州がいちばん美しい花の季節、新しい職場や学校になじみつつあるだろうか。また、通勤などで上田に引越してきた方々は、この街の第一印象は如何だったろう。新しいスタートを快適に切っていたら、新生活が豊かな暮らしとなるよう、我が松尾町商店街は、郊外のショッピングセンターや大型量販店とは一味違った商品とサービスで、誠心誠意、応援している。春うらら、中央商店街をウインドーショッピングしながら、穏やかな日差しを浴び、上田城址あたりまで散歩する一日も楽しいはずである。さて、今号の特集は「JT上田工場跡地再開発を考える」と題し、これから盛り上がるであろう「市民レベルの議論」に論点を提供できれば―と思っている。すでに新聞報道で「存知か」と思うが、JT上田工場跡地と隣接の民有地を含めた約20畝を公共、商業、水と緑、住宅の4ゾーンで設定、再開発をするというものだ。

この広大な土地のプロジェクトは、中央市街地の構造を根本から「再構成」してしまうほどの影響をもたらす。先に述べたような中央商店街を北上し、真田太平記館あたりから西へと向かい、上田城址まで散策するというコースも、風前の灯となる可能性も考えられる。

当然ながら我々も商店街の工ゴ、すなわち、商店街が破壊されるから反対、という保身一辺倒のような発想だけで今回のことを考えるのではなく、お客様である市民の視点、また、店主たちの言い分、中央市街地の再開発の意義など、様々な角度から考察したいのだ。1回の特集では紙面が足りないで、連続3回の特集として、読者の皆様からのご意見や反響も交え、場合によっては座談会やシンポジウムなど、議論の場も企画しようと考えている。しかし、不発に終わるかもしれない。

民間のプロジェクトとはいえども、新生上田市における筆頭巨大プロジェクトである。50年の計が必要となる「街づくり」だ。行政と商工会議所も市民参加の検討会や懇談会を計画しているようだが、行政がリードする議論の場と違う市民レベルの機会となればうれしい。消費者でもある市民が一人でも多く参加しなければならぬプロジェクト。それがJT上田工場跡地再開発なのである。

特集●JT上田工場跡地再開発を考える 第1回

約20haという広大な土地

去る2月27日、日本たばこ産業(JT)が旧上田市の母袋創一市長当時を訪ね、市内天神の上田工場跡地の開発計画案を示した。跡地と隣接の民有地約1haを含めた約20haに、文化をキーワードに水と緑に近接した公共施設を計画し、合併後の新市における拠点性の向上を図る。「公共公益ゾーン」、また、これまでJT所有地の開発でイオン(ジャスコ)やセブン&アイ(イトーヨーカ堂)を誘致してきた実績から、流通大手の大型商業施設出店を前提とした賑わいの拠点「商業ゾーン」と、公共公益ゾーンと有機的に空間を連動さ

白いフェンスで囲まれ敷地内の様子がわかりにくい、ご覧のように広大な土地だ



せる「複合用途ゾーン」を計画。そして、水と緑をキーワードに千曲川の魅力を再現した親水空間の「水と緑のゾーン」、隣接する西のエリアには、良好な住環境を整備した「住宅ゾーン」を配置、市中心部の居住人口増加を図るとしている。実にバランスの良いプロジェクトである。

ところで20haといってもピンとこない読者がほとんどではないだろうか。約6



万坪の土地である。わかりやすく例えると、東を上田駅前から中央通りを北進し中央2丁目のスクランブル交差点まで、北はスクランブル交差点から市役所を通り上田城跡公園前の大手1・2丁目交差点、南西は第二中学校の坂を下り天神2丁目の交差点からLIVINの前を通過し上田駅前まで囲まれるエリアの1.3倍の面積である。いかに広大な土地かが理解できるだろう。民間の所有

する土地の開発といえども、中心市街地に新たな市街地を作ってしまうようなインパクトを持っている。

JT側と市当局の調整の経緯

今回、新聞報道等で明らかにされたJTの再開発プランは、既に市当局との調整を経て出てきたものなのだ。議会広報やローカル紙を細かく見ている方なら経緯を想像できると思うが、ほとんどの方々は唐突な感じだったのでないか。

実は2002年7月、JTによる上田工場の閉鎖発表以来、JT側と市当局の二者間で調整が続けられていたのだ。2005年4月には、①中心市街地の一端を担う商業的な賑わいの拠点、②千曲川の魅力を最大限に引き出す「水と緑の拠点」、③上田城跡公園とのネットワーク形成による、文化の拠点」という3つのコンセプトを提示した。また、2005

年12月市議会では、①JT側は、来春(前述した2月27日の提示プラン)には全体の利活用計画をまとめる見通しである②「賑わいの拠点」についてJT側は、「立地条件を活かし、中心市街地の一端を担う新たな拠点として、既存商店街等との連携も図りながら、中心市街地の賑わいの形成、活性化に寄与できる施設となるよう、商業施設も含めて計画していきたい」としている③市は、庁内に「利活用調整委員会」を設置、委員会は、「JTへの調整指導」と「一部敷地の公共利用の検討」を行う」と田中明議員の質問に総務部長が答弁している。

このような経緯をもとに推測すると、現時点で、かなり詳細なレベルのプランをJT側はもっていると思われる、市当局も認識しているはずだ。なぜなら一般的な開発立案のプロセスを考えると、工場閉鎖を検討し始めた時点で、ある程度のプランがなければ、跡地等の資産運用をシミュレーションができないからだ。

報道で議論が過熱したのは商店主ばかり

これらの動向に即して、上田商工会議所では、明日の地域経済を考える委員会と明日の市街地活性化を考える委員会において議論が続いている。その一環として、2006年1月、松尾町をはじめとした各商店会など商工会議所全議員90名に対し、JT跡地利用のあり方についてアンケート調査を実施、回収率は75%だった。結果は資料として市当局に提供している。主な設問に対する回答率を挙げると、「JT再開発への市のかかわり方」に対し、「一部は市が取得し公共活用し、他

専門店のオーナーがご案内する

「暮らし百科」



様々な水虫のお悩み…お気軽にご相談ください

第6回 水虫の予防と対策

万物が活発に活動を始める春。しかし、そんな中で歓迎できないのが、水虫を引き起こす「白癬菌(はくせんきん)」の活動だ。そこで、この厄介な水虫に有効な予防と対策を、藤岡薬局で指南していただく。

「水虫は足にできやすいのですが、清潔にしてよく乾燥させるのが一番です。革靴を履いて仕事をする方は、できれば1日おきに履き替えて、履かない靴は日光に当てて干しておくと、水虫は自然にはえてくるものではなく、移るものですか」とも要注意です。といっても、菌がついたからといって、す

ぐに皮膚の中に入り込むとは限りません。よくふいて乾燥させ、清潔にすれば心配ありません。水虫が出てしまった場合は、病院で検査してもらうのが一番確実です。

「今はいいい葉が出ていますから、根気よくつけてもらえばよくなるはずですよ。薬を塗っていたのは、風呂上がりの皮膚がやわらかくなっている時、よく乾かして塗ると最も効果的です。ドライヤーで髪を乾かすついでに足も乾かすとよいでしょう」

皮膚の汚れを落とす薬用化粧水や5本指靴下、薬用石鹸・抗菌剤入り石鹸など、お役立ち商品も各種あり。

詳しくは「藤岡薬局」へ 電話/0268-22-0092

選挙も終わり市の対応は…

昨年の10月30日に行われた長野市長選では、オリンピックスタジアムに隣接した農地で開発計画されたイオンの巨大商業施設の是非が一つの争点となり、現職と新人の一騎打ちとなった。今回のJ-T

再開発は民間所有地の自社開発の話なので内容が異なるが、巻頭言でも指摘したように新生上田市の街の構造を変えてしまいう巨大プロジェクトといっても過言ではないのに、4月2日公示された新上田市の市長選は無投票選挙となった。

新上田市の初代市長に選ばれた母袋創一氏は、TVや新聞のインタビューに次のようにコメントしている。「J-T再開発の公共公益ゾーンには、市民会館の建て替えを含め文化施設を求める声があり、その必要性を感じている」。また、商業ゾーンの流通大手による大型商業施設を前提としたJ-Tの方針に中心商店街から異論が出ていることには、「広く市民の意見を聞く場を設け、既存商店街と新規大型店の対立とを踏まえ、50年の計で中心市街地をどうするか考え、年内には方向性を固めたい」と答えている。この内容では、J-T再開発におけるこれまでの答弁や報道インタビューへのコメントと同じものだ。市長と市当局の今後の動向に注目したい。

市民会館などの文化施設!

数年前から市民会館の老朽化と建て替えるの声をよく耳にする。確かに16万都市

となった今の上田市には、余りにも心もとない施設となった。しかし、市民会館などの大規模なホールの計画は、以前より難しくなっている。一昔前のように大規模ホールがあれば音楽イベントがやってくるという時代ではない。なぜなら、高速道路と新幹線が整備された今日、長野市の県民文化会館やビッグハットをはじめとするオリンピック関連施設、音響効果抜群の軽井沢大ホールと競合しなければならぬ。中央の音楽プロダクションの興行プランは、より効果的に集客し、より効率的に開催都市を回るスケジュールを組むようになっていく。長野市と軽井沢町の中間にある上田エリアは、興行的な魅力が少なくなつてしまったのだ。こうなると松本市のようなオベラに対応できる松本芸術館のような特長のある施設でなければ、これからの地域間競争に対抗できない。市民のための文化施設といえども、時代を見越したオンラインワンの計画にする必要がある。



上田城跡公園内の上田市民会館

文化施設は大型商業施設の集客装置? 別の角度から今回の公共公益ゾーン文化施設を考えてみる。昨今の民間開発の特徴は大型商業施設と文化施設やスポーツ施設などによるセット開発が主流だ。先に挙げた長野オリンピックスタジアムに隣接したイオンの巨大商業施設計画のように、また、さいたまスーパーアリーナに連絡するイトーヨーカ堂など、さらにはシネマコンプレックスを併設した巨大商業施設も同様の発想で開発されている。敷地内のこれら施設は、文化やスポーツといったイベントによる集客装置と位置づけられ、その客が大型商業施設にお金を落とすとしていく。敷地内部で消費が行われる一つの宇宙となる。

如何だったろうか。今回はJ-T上田工場跡地再開発プランの現状とその経緯、文化施設開発の難しい時代などについて考えてみた。次回は、このJ-T跡地再開発が郊外型消費パターンを是正できるのか、また、中央商店街との共存・共栄を図るポイントは何かなどを考察してみたい。できることならば、母袋創一市長に話を伺いたいと考えている。

銘店探訪●上田病院



広々とした待合室と診療受付

上田病院は、明治37年に地域初の病院として現在地に設立された。明治21年に鉄道が上田に開通し、駅に通じるメインストリートとして松尾町が急激な発展をとげる中での誕生だった。その後、順次診療科目を充実させ、地域の病院として親しまれてきた。近年は時代と地域のニーズにこたえて、介護支援に力を入れた事業を展開し、取材にうかがった3月下旬も、4月からの介護保険制度の変更に向け、介護予防を

重視したサービスを行うための対応に追われていた。今回の変更は、自立した生活を送れるよう、できるだけ要介護状態になることを防ぎ、また、要介護状態がそれ以上悪化しないようにすることを目指したものだ。が、「本人の自立を促すために、手間と時間を惜しまない」をポリシーとしてきた上田病院では、既に幾つもの取り組みが行われており、その一つに生きがいデイサービスがある。

「元気な高齢者で、介護度がつかない人たちの集まりを月1回やっていましたね。頭や体の健康のために、体操をしたり話をしたり。どんど焼きやお花見など、季節の行事も楽しんで、引きこもり防止や社会参加の意味を含めてやらせてもらっています。ずいぶん仲間意識ができて、自主的に活動が広がっているんです」と、居宅介護支援事業所長の土屋久美子さん。そうした活動に、商店会が協働できる機会があるのではないかと...

「これまで、松尾町の敬老会に参加させていたことがありますが。大変うまくいって、利用者さんからもよかったという声が寄せられました」今後、松尾町が進めている振興組合の立ち上げで、商店だけでなく、医療事業所など他の事業者が参加してものを言いやすい環境も整えられる。外来患者延べ数が1カ月約2800人、通所リハビリ利用者数が1月約500人の上田病院との協働の可能性が広がっている。

医療法人 健 静 会 上 田 病 院

内科・外科・小児科・消化器科・X線科・麻酔科・
整形外科・皮膚科・大腸肛門科・泌尿器科の10科
でベッド数72床

上田市中央1-3-3 電話/0268-22-3580
診療時間/9~18時 休診/木曜日・土曜午後・日曜日

創業以来、信頼と技術第一で、皆様の暮らしを
応援している
定休日/日・祝日 時間/10~18時



4・5月の特別サービス 毛布1枚600円

冬から春、そして初夏へと、季節の移ろいととも欠かせないのが、衣服や寝具の手入れ。

安心と信頼のクリーニングの店「松屋」では、大正14年の創業以来、お客様の大切な品を「清潔でいつまでも型くずれなくパリッと」お届けできるように、クリーニング一筋。天神3丁目の工場社員も含め、お客様一人一人に「親切・丁寧・細やかに」を常に心掛けています。

4・5月は、毛布1枚600円の大特価でお受けします。

お問い合わせ/松屋プラザ店
上田市中央1-1-18
電話0268-27-300

真田坂●今月の特選品



豊富な取りそろえの中から、手になじむお気に入りの一本を探すことができる

多機能ボールペン・シャープペン

喜びの新学期・入社の季節。そこで、新人さんにおすすめなのが、1本に2機能、3機能…と付いた多機能ボールペン&シャープペンだ。細身で軽く洒落た1本の中に、シャープペン・ボールペン、あるいはボールペンの黒・赤・緑など多機能を収めている。できる“人の手元には、できる筆記具。店内に2万点の文具がそろったマルブン堂では、書道用品やマンガ用品も充実している。

お問い合わせ/マルブン堂
上田市中央1-3-4
電話0268-22-1171

街歩きエッセイ⑥「真田坂周辺の花見処」

この風景、「懐かしいなあ」と思う読者も多いのではなからうか。上田藩主屋敷、現上田高校の正門である。花が美しいこの季節、上田駅から我が松尾町真田坂を北へと散策し、三井住友銀行が北西角にある松尾町交差点を左に曲がり、城下町風情の漂う小路を進むと、突き当たりに屋敷塀が現れる。

この真田坂4月号が発行される頃、可憐な桜がお堀の水に映え、本当に美しい。つづじも有名で、屋敷門との色のコントラストが、城下町の裏路地を楽しむ旅なれた観光客の足を止めさせる。ここから上田城跡公園まで1キロちょっと。春の日差しを浴びながら歩いて十数分だ。

上田城跡や上田藩主屋敷の歴史は、読者の皆さんも詳しいと思つたので、松尾町真田坂という名称について、ボヤキを少々。ご承知のとおり、上田藩歴代藩主は戦国末から江戸初期の真田氏が40年間、江戸前期の仙石氏が85年間、松平氏に至っては江戸中期から明治維新までの166年間だ。ところがいつしか上田は真田で売り出し、既にブランド化されていた。そして、真田坂という名称が公募で決まった。しかしながら、歴史好きな方々からは、なぜ一番短い藩主なの？と、いまだに言われてしまうのだ。新生上田市は丸子町、真田町、武石村との4市町村で誕生し、発祥の郷、真田町も我が市となったのだ。大きな心で上田のブランド真田を受け入れていただければ嬉しい一と、上田高校の桜を楽しみながら思ってしまう。そういえば、その昔、上田高校を松尾高校と呼んでいた。どうしても真田坂という呼び方が引つかかる方は、今までのとおり、松尾町でござ愛顧を…。



(写真/平林敏夫)

商店主図鑑●宇田恵美さん

ソニア イン ベスト 上田市中央1-4-6
電話 0268-29-0077



「マックスマラー」も「イエーガー」も、東信地域で初の店。お洒落に敏感な女性たちの熱い視線を集めている

宇田恵美さんは、この春大きな転機を乗り越えた。
真田坂で5年間、宇田さんが店長を務めてきた「バーバリーショップ」が、取り扱いブランドを「バーバリー」からイタリアのトップブランド「マックスマラー」と、百二十年の歴史を持つ英王室御用達「イエーガー」に変え、店名も「ソニア イン ベスト」となって新装オープンしたのだ。

「昨年末をもってバーバリーが百貨店販売のみとなりましたので、ブランドラングを下げないように、思いを込めて選びました。原点に戻って、どうしたら素材とデザインのいいものをここに入れることができるか探しました」
宇田さんの原点とは、洋裁学校を卒業し、東京のデパートのオーダールームで働いていた時にさかのぼる。
上質で美しく高価な輸入生地で作作り

をしていた宇田さんは、いいものを見る目を養い、目の肥えた客に鍛えられた。その後結婚して帰郷し、専業主婦になつたが、子育てが一段落したのを機に、以前よく買い物していた「マルデン」に出かけて就職希望を掛け合った。マルデンは、長野市篠ノ井で上質な洋服と着物を揃える老舗。折よく、上田西武に「イヴサンローラン」を入れるにあたって、店長適任者を探していたマルデン側の意向と合致。8年間店長を務めたが、サンローランとのライセンスが切れたため、次に探したブランドがバーバリーだった。
「サンローランが持っていた美しさを引き続き提供するには、バーバリーしかないと思っただんです。でも、路面店に出なければならなくなって、私は商店街とか慣れないので、とても不安でしたが、ここに出店することに決まりました」
そして今年、イタリアのラフでお洒落なデザインと、背筋を伸ばしてきれいに着られるイギリス物の2本建てとなり、新たな客層の取り込みにも確かな手応えが返ってきた。

「今、女性がますます若々しくなり前向きに生きていらつしゃいます。そんな方たちに、芸術や音楽を楽しむように洋服を楽しんでいた、たくお手伝いができればうれしいと思います。上田の町にこういう専門店があれば都内に行かなくても、最も新しい今を、身近で感じていた、だけです。ですから、出来る限り上田の町でトップブランドの店を続けたいと思っています」
確かな仕事の積み重ねで培った、自信に裏打ちされた美しい笑顔が、真田坂でキラリと輝くブティックを支えている。

⑥ 昔・立地で、今・業容

商店街がこれからもう一度、「買い物物の場」としての評価を取り戻していくためには、過去の常識・栄光と決別して、客に対し「買い物物の場としての魅力」をアピールできるようにしなければならない。これは各個店に共通する現下最大の経営課題だ。かつて小売店は「立地産業」だと言われていた。当時の「小売店」というのは業種ごとに一定の業容があつて、自分が営みたい業容にふさわしい立地を選択することが繁盛の秘訣だった。

今日、「立地と業容」のセットで作られた商売（＝商店街商売）が成り立っているのは、郊外型を含むSC（ショッピングセンター）のテナントなのだが、その業容はかつての商店街の個店の店づくりと比べると、格段の進歩を遂げていることは言うまでもない。現在の商店街のほとんどの店が、たとえ今風商店街＝郊外型SCにテナントとして出店しても、うまくいくはずがないほど、新たな理論と手法が生み出されている時代だ。

好立地とは客から見た「買い物物の行き先」としてOKな場所のことなので、立地とは、本来「業容プラス立地」のことだった。商売繁盛を実現するには立地と業容のバランスを考えなければならなかった。その昔の商店街立地の小売店の経営者は、みんなこのことを知っていたのだ。
すなわち、この時期、商店街という立地で繁盛を再生したいと考えるなら、問題は、その店はどのような「業容」を取るべきか、というところに帰結する。「立地と業容」のバランスが取れて繁盛していた商店街。バランスが崩れて繁盛できなくなっているとする、「業容」を変えなければならぬのは、誰がどこから見ても当然出てくる「取り組むべき課題」だ。昔は業容を前提に立地を選択、今は立地を前提に業容を転換、これが今と昔の「個店繁盛法」の変化である。



真田坂的料理 第6回 山菜の天ぷらと炊き込みご飯



山菜の鮮度が一番。時間がたつと風味もみずみずしさも損なわれてしまう

独特の香りと苦み、口に広がる春の味!

今号の先生は、旬の野菜や果物の美味しい食べ方を店頭で日々アドバイスしている「フードショップみやした」の宮下美和子さん。山菜シーズンの到来を受けて、行楽弁当にもぴったりのメニューを教えていた。山菜独特の香りや苦みを衣にくるんでサク

ツと揚げた天ぷらは、フキノトウにタラノメ、コゴミ、そして彩りにニンジンのかき揚げを添えている。

炊き込みご飯の材料
米 3カップ
アク抜きタケノコ 200g
油揚げ 1枚
鶏挽き肉 100g

●作り方

1. タケノコは半月切り、油揚げは短冊切りにする。鶏挽き肉は酒小さじ2をふりかけておく。
2. タケノコ・油揚げ・鶏挽き肉にだし1カップ、砂糖小さじ2、酒大さじ2、しょうゆ大さじ2を加えて煮る。
3. 米をとき、米3カップに対してしょうゆ大さじ3、塩小さじ1、酒大さじ3を入れて2の煮汁も入れ、水を目盛りまで注いで炊く。
4. ご飯が炊きあがったら、具をのせて蒸らす。

・タケノコとワカメの酢の物は、酢1に対して砂糖0.8、みりん少々を甘酢をかけて出来上がり。

協力/フードショップみやした 宮下美和子さん
上田市中央2-6-1
電話/0268-22-2112

抜かなければならないが、これが手間ひまかかる大仕事。みやしたでは、「仕入れたタケノコを約2時間かけてアク抜きし、翌日皮をむいた方が香りがいいと、皮つきのまま欲しいという人もいますよ」
タケノコの穂先の柔らかな部分は、さつとゆがいてワカメと一緒に酢の物のに。
生命力あふれる芽吹き味が、春の喜びを運んできてくれる。

真田坂の新人さん

立川直美さん
みずびと館本舗(株)飯島商店



「人と接することが好き。お菓子をつくることも好き」という立川さんは、真田町の出身だ。東京での洋菓子販売の経験が生かせることと、素材へのこだわりに魅かれて、この春入社。
「早く顔と名前を覚えていただい

が広々と明るくなっていて驚きです。またあまり歩いていないので、これから近辺の店を探検するのが楽しみです」

上田市中央1-1-21
電話/0268-23-2150

お酒コーナー
未成年者の飲酒は禁止されています



青春のときめき! 昭和の二大スターの 限定品

売れ残りミュージアム⑥ 裕次郎メモリアルBOX・美空ひばりメモリアル不死鳥伝説

「これは私の青春」と、小池水産のおかみさん・白井勢津子さんが瞳を輝かせて店の奥から捜し出してくれたのが、ご覧の二点だ。1999年9月に発売された「裕次郎メモリアルBOX」は、「酒と海をこよなく愛した裕次郎が、大好きなハワイでいつも楽しんでいた」というカリフォルニアワイン「ゲノック」に、太陽族と呼ばれて一世を風靡した裕次郎が、オリジナルラベルの中から微笑みかけている。

αがお宝になっちゃったんだよね。今これを分けてと言われても、ワインもお酒もそのものうまさはもう全然ないかもしれないので。ファンの方が、それでもよいというのでしたらお分けします。何年かぶりで開けてみましたが、やはり胸が熱くなりますね。元氣が出てきます」
ちょうど居合わせた息子が社長の正一さんが「年の割には頑張っている」と一言。青春の思い出が詰まった限定品。熟成の味は保証できないが、胸のときめきは保証付きだ。

一方、2001年6月に十三回忌を記念して発売された「美空ひばりメモリアル不死鳥伝説」は、大関の超特選大吟醸と特別本醸造の2本セット。不死鳥コンサートでの投げキッス姿に、「忘れずにありがと」という自筆の文字が添えられている。
「どちらも予約プラスαで仕入れて、その

お問い合わせ先/小池水産 定休日/月曜日
上田市中央1-4-5
電話/0268-22-0879

始めませんか？

Green Oak English School

春から英会話！

グリーンオークが目指すのは「使える英語」

アットホームな
雰囲気
で
楽しい英会話！
お子様～大人まで



無料
体験レッスン
随時受付中！
お気軽にお電話ください！

今なら
入学金 ¥0
(5月末まで)

編集後記

毎号の硬派な特集に「オジサン臭い」との指摘もあるが、毎号「まちおこしジャーナリズム」というコンセプトで、市民の暮らしに必要である商店街の構造的な問題点、その光と影を取り上げ、読者と共に考えてきた。「この特集が真髓」との声も聞き、実にありがたい。今回の特集「J.T跡地再開発」は、次号の2周年記念号特別企画だったが、動きが出てきたので前倒しとなった。中心市街地の巨大プロジェクト、市民の皆様と共に、様々な角度から議論できればと思っている。(安藤)

真田坂の取材は、毎回、発見の喜びに満ちている。今回、店主凶鑑の取材で訪れたソニアさんでは、買い物単に商品を買うだけでなく、店主との会話をはじめ多くのプラスαによって、質の高い満足や癒しにつながることを再認識。間口は狭くとも、深い専門知識とセンスを備え、生きる姿勢を言外に語っているような魅力あふれる店主と、厳選された品々。大型商業施設では得られない至福のひと時がある。(慈田)

発行日 ● 2006年4月15日
発行 ● 松尾町商店会 (会長 矢島嘉豊)
第5号編集委員 ● 副会計・滝沢善郎 企画部・一之瀬公 市商連担当・志摩充彦 町田和幸
タウンカメラマン松尾町商店会副会長・平林敬夫

取材 ● 安藤州平・慈田鴨子
企画編集 ● 真田創造工房・安藤州平
印刷 ● 中外印刷株式会社
ご意見、ご感想、ご要望はFAXでお願いします。FAX ● 0268-72-0222

グリーンオーク英会話スクール



Green Oak

〒386-0012 上田市中央1-4-5

TEL: (0268) 22-6794

FAX: (0268) 22-6855

E-mail: greenoakenglish@po7.ueda.ne.jp